千葉県教育⾧ 冨塚 昌子 様

令和 3 年５月 14 日公明党千葉県本部女性局公明党千葉県議会議員団

コロナ禍における女性（児童・生徒）の負担軽減に関する緊急要望

* 世界保健機関（ＷＨＯ）が、新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）を宣言して１年が経過した。この間、感染者は世界人口の６４人に１人の割合にまで拡大し、いまだ収束を見通せておらず、世界中の人々の命と暮らしを脅かし続けている。
* このような中、世界各国で「生理の貧困」が問題となっている。「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、また、利用できない、利用しにくい環境にあることを指し、発展途上国のみならず格差が広がっている先進国においても問題になっているところである。この「生理の貧困」解消のために、例えばイギリスでは、2020 年から全国の小・中・高校で生理用品が無償で提供されたほか、フランス、ニュージーランド、韓国などでも同様の動きがある。
* この問題は日本でも無関係ではなく、貧困で購入できないことに加え、ネグレクトにより親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘もある。
* 我が党ではこの問題にいち早く取り組み、国会において「実態を把握し、学校での無償配布など必要な対策を」求めたことに対し、政府は「地域女性活躍推進交付金」を拡充し、生理用品の無償配布も可能とした。
* 本県においても、児童生徒の健やかな成⾧のため、そして、誰一人取り残さない社会を実現するためにも、このような女性（児童・生徒）の負担軽減に取り組むよう以下要望する。

記

1. 県立学校において生理用品の無償提供など、女性（児童・生徒）の負担軽減について早期に検討すること。

1. 公立小中学校の設置者である市町村教育委員会と課題認識の共有化を図るとともに、他自治体の先進事例等について情報収集を行い、市町村教育委員会への周知等の支援を行うこと。

以上